

## 第2章 アジア・アメリカの古代文明

### 中国の王朝・時代

殷→周→春秋戦国→秦→前漢→新→後漢→三国→晋→南北朝→隋→唐→  
→五代十国→北宋→南宋→元→明→清→中華民国→中華人民共和国  
→金

### 3. 中国の古典文明 a. 黄河文明

①[1 黄河]流域…前 5000 ころ[2 雑穀]などを栽培し、牧畜を行う文明の成立

5

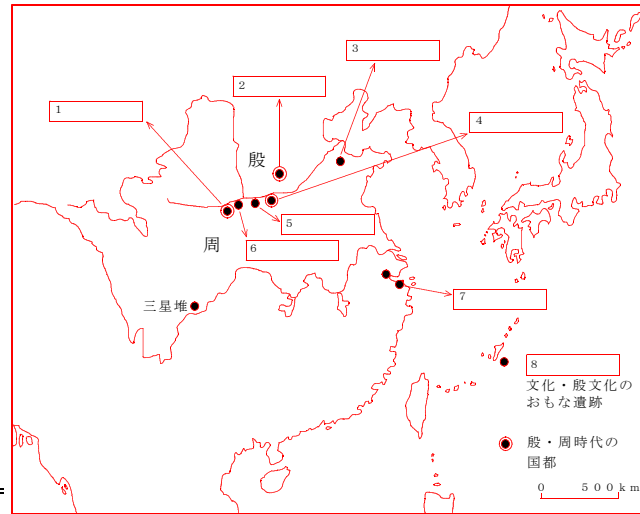
・前 5000 ～[3 仰韶]文化(黄河中流域)…彩陶([4 彩文]土器)の使用  
→[5 オリエント文明]との関連?

3

・前 2000 ～[6 竜山]文化(黄河下流域)…集落の拡大や[7 黒陶]や灰陶使用(三足の黒色磨研土器)

河姆渡7

②前 5000 年～ [8 長江]流域でも[9 水稲]栽培を特徴とする文明成立



東アジアの地勢と中国文明

中国では前 5000 ころ[10]中下流域の黄土地帯に、農業に従事する民族的集団が登場した。まず黄河中流域の[11]などで彩文土器([12])の使用に特徴をもつ[13]文化が発生、つづいて黄河下流域の[14]などで黒色磨研土器に特徴をもつ[15]文化が生まれた。  
他方、[16]流域でも、前 5000 年ごろから[17]農耕が開始された

### b. 殷と周

①黄河中・下流域での都市国家([18 邑])の成立→邑を支配する国家の成立(邑制国家)  
伝説上の王朝=[19 夏]

2

[20 殷]=前 1600 ころ成立 都(商)の遺跡=[21 殷墟](河南省安陽)の発掘により確認

[22 神権]政治…甲骨の占いにより神意を知り、それに基づき政治を行う。王は最大の神官

王権の強さ→巨大な地下墓…多くの[23 殉葬者]を伴う、[24 青銅]器の使用、子安貝など  
→[25 金属器]時代に

[26 甲骨]文字の使用→[27 漢]字の基礎

黄河中・下流域ではしだいに[28]とよばれる都市国家が形成され、つづいてそれを支配する王朝も現れた。伝説上の王朝[29]もこのような王朝ではなかったかといわれる。  
現在確認できる最古の王朝は[30]であり、[31]の占いにより神意を知り、それに基づき政治を行うという[32]政治がおこなわれていた。この占いでは[33]文字という文字が用いられ、現在の[34]字の基礎となった。王の権力は多くの[35]を伴う巨大な地下墓にみられる。また[36]器も副葬されており、[37]時代に入っていたことが分かる。

②[38 周](前 11 世紀～) [39 渭水]盆地が中心 首都[40 鎬京]

血縁関係を基礎とした支配体制をとる=[41 封建]制度

封建制度…[42 血縁]関係をもとに周王の支配力強化をはかった政治制度。王の直轄地のほかに一族、功臣を分封して[43 諸侯]とし、土地、人民を支配させ平時には[44 貢納]を治めさせ、戦時には[45 軍役]の義務をおわせた。諸侯は官職と収入を世襲する[46 卿・大夫・士]といった家臣を養った。

同祖先の父系血族集団=[47 宗族]、血族集団維持のための礼法=[48 宗法]

前 11 世紀に[49]盆地の[50]を首都に成立した周王朝は、[51]関係を基礎とした[52]制度をとり、一族、功臣を[53]として土地・人民を支配させていた。また[54]と呼ばれる親族集団を結成し、[55]という規則をさだめていた。

### c. 春秋・戦国と鉄器の普及

①前 8 世紀 周、周辺民族([56 犬戎])の攻撃を受け首都を[57 洛邑]に移す([58 東周])  
現、洛陽

→以後、周王朝の弱体化、59 諸侯の自立、割拠による分裂状態

②[60 春秋]時代(前 770 ～前 403)

周王室の尊重([61 尊王])、他民族から周を守る([62 攘夷])

→周王のもと、諸侯の中心(=[19 覇者])として他の諸侯に命令することをめざす  
→「春秋の五覇」(齊の桓公、晋の文公など)

③[63 戦国]時代(前 403 ～前 221) 晋の分裂→

周の権威の喪失、諸侯同士の抗争の激化→完全な独立といっそうの抗争、実力万能の時代に

[64 戦国の七雄]の割拠(65 燕・韓・斉・楚・趙・魏・秦)→たがいに抗争

④各諸侯は他の諸侯に勝るよう、[66 富国強兵]をめざし軍事、産業の発達につとめる  
農業→[67 鉄製]農具の使用、耕地の開墾、商業→[68 青銅貨幣]の使用